

はなさと幼稚園

# 幼・小連携保育の取り組み



## 1. はじめに

はなさと幼稚園と花里小学校とは玄関がちょうど真向かいに位置し、お互いの様子がよく分かる位置関係にある。互いの子ども達もそれぞれの様子に関心を持ち、行き帰りや、兄弟関係の行事等で参加したり、のぞきあったりして関心を深めている。

そのような環境のなかで小学校の校長先生の関心の深さに助けられ、幼・小の連携事業に取り組み始めているのが現在の状況である。

そこで、職員で考えられる様々なことを幼稚園の子ども達の発達状況や小学校の児童のことも考えて互いがプラスになるような取り組みとして、幼・小連携の行事や交流をはじめている。以下はその一端の紹介であるが、まだまだ課題も多く、お互いの子どもたちにとって本当にそれぞれにプラスになっているのか手探りの中、進めているのが現状である。

- ・ お茶試飲会 (平成19年 5月21日)
- ・ プールでの交換会 (平成19年7月1日～18日)
- ・ 運動会 (平成19年9月29日・10月7日)
- ・ 音楽会への参加 (平成18年11月22日)
- ・ サッカー教室 (平成19年1月16日・18日)
- ・ お誕生会の出し物として(平成19年 3月 3日)
- ・ 小学校見学 (平成19年 6月11日)
- ・ 読書会 (平成18年11月 5日)

## 2. お茶摘み体験・試飲会に小学1年生を招く

地域の方の畑にあるお茶畑で園児たちがそれぞれにお茶摘み体験をし、それを園に持ち帰りせいろで蒸してお茶もみ体験をした。自分たちで手作りのお茶を作った。

それを、昨年度同じ園に通っていたお兄さん・お姉さんにももう一度味わっていただこうと花里小学校1年生100名を招いて、お茶の試飲会をした。

人数の多さとパワーに圧倒されたが、一人ひとりがお湯飲みをお運びして、お茶をいただけてもらったことがすごく嬉しかったようで、「自分が1年生にはこんだよ。」とか、「美味しそうに飲んでいたよ。」など、家に帰るとすぐに報告し今までと違った体験に感動したようだった。1年生は、去年と違ったお菓子だったよ。とかクラスのみんなが飲めるくらいたくさんあったよ。美味しかったよ。と感想をもってくれた。



## 3. プールサイド交歓

幼稚園の夏の水遊びは園庭にビニールプールを広げて水鉄砲や水浴びのような水に慣れる、遊ぶという領域から小学校の小プールをお借りして、強烈なシャワーを経験したり、腰まで使って渦巻きを作り、流れに逆らったりという遊びなどをする領域まである。

本園では、5歳児はお向かいの花里小学校で小プールをお借りして本格的に水遊びをしている。そのとき大プールには小学生が水泳授業を受けているので、それを見学したり、また見学者と話をしたりという交換会ができています。それにより子ども達は小学校生活を垣間見ることで小学校への期待に発展させている。



## 4. 運動会

幼稚園の運動会も小学校や中学校と同じファンファーレで開幕する。以前はテープに取られたファンファーレで入場していたが、ファンファーレの音を合図に さぁやるぞ！ という意欲喚起のためにも本物の吹奏楽器で入場させたいと思い、花里小学校の吹奏楽部の皆さんにお願いして、当日出場演奏をしていただいている。園児たちは金ぴか楽器にびっくりし、その楽器の奏でる音に感動し、その吹奏楽で入場行進できるという誇らしい気持ちを持ってのびのびと立派に運動会のオープニングをすることができた。

また、参加した小学生も自分たちの基盤である小学校とは違う緊張感と期待と憧れの眼差しの園児の気持ちを受け止め堂々としっかり演奏でき観衆からも拍手をもらったことで誇らしい経験をしたようであった。



## 5. 小学校の音楽会へ参加

昨年度小学校の音楽会に幼稚園として参加、出演させていただいた。それまでは5歳児が児童鑑賞日に一緒に鑑賞させてもらっていたが、平成18年度は幼稚園のステージを用意していただき、演奏した。

園児たちは広い体育館で、500人の児童という大勢の前での演奏はたいそう緊張したようであるが、たくさんの人に見てもらって嬉しかったという感想を寄せていた。また、1年生の子どもたち(昨年まで、園と一緒に過ごしていたお兄さんやお姉さん)が、先生の指揮棒の合図で一斉にピアノカを構える迫力に圧倒されたり、もう少し上級生になるとさすがに上手だなあと感じたりしたようだ。

保護者も園児の部分だけ鑑賞してもらったが、わが子が大勢のなかでも遜色なく出演している姿に感動したとおっしゃっていた。



## 6. サッカー教室

幼稚園の子どもたちもサッカーが大好きだが、なかなか思うように行かないのが実情である。そこで、小学校の若い先生たちに出張授業をお願いしサッカー教室を開いた。ひとりひとりに丁寧に教えていただき、子ども達は次のような感想を残してくれた。

みんなとサッカーができて楽しかった。ゴールからはずれても先生が「頑張ったね」といってくれてうれしかった。ボールを蹴るところがおもしろかった。ゴールした時うれしかった。先生が「シマウマゴール」といってくれてうれしかった。走ってシュートするのがおもしろかった。先生がボールを蹴ったのがすごかった。先生が「ナイスシュートや」といってくれたのがうれしかった。頭でヘディングしておもしろかった。小学校の先生にほめられてうれしかった。ヘディングをおでこで打とうと思ったら、おでこ鼻で打って痛かったけど楽しかった。



## 7. ジュニバン演奏会

幼稚園での毎月のお誕生会の出し物として、お母さん方に劇をしていただいているが、運動会でのジュニアバンドのファンファーレや入場行進の演奏が好評だったので、お誕生会でも演奏していただいた。

室内で聞く演奏はとても迫力があり、すごい！すごい！の連発だったが、金ぴかの楽器にも魅力があったようで食い入るように演奏をながめ、リズムを合わせ楽しんだ。すると6年生の方も楽器演奏にあわせて歌を歌いたいといって、ソロでも歌う場面を演出してくれた。金ぴか楽器がたくさんで演奏するとこんなにもすごい音楽になることや、大きな楽器を堂々と演奏できるお兄さんやお姉さんのカッコいい姿に感動し、日頃小学校から練習で聞こえてくる演奏が目の当たりで鑑賞できたことで満足げであった。



## 8. 小学校運動場や前庭見学

4月に入園してきた園児たちは4月・5月と園生活に慣れるにしたがって園の前にある小学校にも関心を寄せるようになった。また、お茶の試飲会で小学生が園にやってきたりすることで小学校の様子を見たいなという気持ちも起きてきたようである。そこで、4歳児としては園を初めて出て行く体験として小学校の運動場や前庭の池の見学に出かけた。運動場の大きさにびっくりし、そこで体育をしている小学生の様子に目を見張っていた。

また、前庭の鯉に興味を持ち、鯉の泳ぎや回遊する様子、友達と「あっ、あっちへいった。」とか「こっちこっち。」と言いながら自分たちも鯉と一緒に池をめぐっているかのようにはしゃいでいた姿が印象的であった。



## 9. 読書会

花里小学校の図書室は図書も充実しており、図書室を巻き込んだ授業だけでなく、土曜日の図書室開放や保護者の方の読み聞かせなど盛んな図書啓発活動がなされている。幼稚園も土曜の図書室開放のお誘いを受けていたが、休日に小学校へ行くことは勇気のいることであるようで参加は少なかった。そこで、平日の業間6年生が低学年に読み聞かせをしているところに幼稚園も、誘っていただいた。5歳児が参加させていただいたが、始めてみんなと一緒に小学校の図書室へ入ることに緊張しながらも本の多さや幼稚園との違い、図書室へ入ると静かに待っている小学生の姿に影響され緊張しながらも楽しいひと時を過ごさせていただいた。「すごかった、6年生が読んでいるのもおもしろかった。」と感想を寄せてくれた。



## 10. おわりに

はなさと幼稚園の地の利を生かした小学校との連携であるが、一つ一つの行事についてはそれぞれに貴重な体験とともに園児の心に大切な思い出と自信をつけるみなもととして残っていると思える。保護者のみなさんにもこれは好評です。

